

福島県 介護施設の生産性向上に資するパイロット事業(案)

資料2

(2019.6.6)

介護を取り巻く
環境

○高齢化の進行や認知症高齢者の増加⇒介護サービスに求められるニーズの多様化・高度化
○社会経済環境の変化に伴う人手不足が介護にも及ぶとともに厳しい労働環境による離職率の増加

目指すべき方向

- 〈業務の効率化〉
○個別業務の洗い出しと分析を行い、業務の削減や時間の短縮を具現化
- 〈ICT等の活用〉
○ICTやロボットの活用による
・過重労働の改善
・効果的な利用者との関わり
- 〈新たな人材活用〉
○高齢者による新たな介護支援の創出
- 〈発信と創造〉
○介護職のやりがいや志を発信するとともに目指すべき姿を創造

生産性向上の取組

- ①介護施設若手経営者による業務仕分け(タイムスタディ)
- ②介護ロボットを活用した業務効率化の実証・提案
- ③ICT(センサー)を活用した高齢者の見守りの実用性に関する実証
- ④インカムを活用した業務効率化の実証と効果
- ⑤モバイル端末等を活用した業務効率化と労働力の適正配分
- ⑥高齢者による介護補助・見守り支援
- ⑦介護オープンラボの開催(介護現場の将来像(課題とその解消))

事業の枠組

推進体制

生産性向上発信会議(仮称)

- 構成員
・福島県老人保健施設協会
・福島県認知症グループホーム協議会
・福島県老人福祉施設協議会
・福島県社会福祉協議会
・三菱総合研究所
・福島県高齢福祉課
- アドバイザー
・会津大学
・ふくしま医療機器産業推進機構
- オブザーバー
・福島介護福祉専門学校

成果

- 業務効率化による労働環境改善
- 利用者へより良いサービスの提供
- 新たな介護人材(高齢者)の発掘
- 介護職の魅力向上

将来像

- 介護職の専門性の向上・ブランド化 ⇒ 介護職の定着・幅広い介護人材の確保
- 介護サービスの質の向上 ⇒ 利用者への最適環境の提供

19/6/4 18:45

介護、福祉業界においても、タブレットや介護ロボット、センサーなど様々なツールを活用した業務の効率化や人手不足の解消、利用者へのケアの向上の必要性が叫ばれるようになり、当法人でも、福島県 介護施設の生産性向上に資するパイロット事業に参加し、タイムスタディによる業務仕分けなど実施しているところです。

業務仕分けや分析は、大変な作業ですが実施することにより課題や改善策が明確になり、そのあとの業務がとてもスムーズになります。協力して取り組んでいきましょう！

業務改善新聞

第23号



委員会からの お知らせ

職員満足度調査 実施します

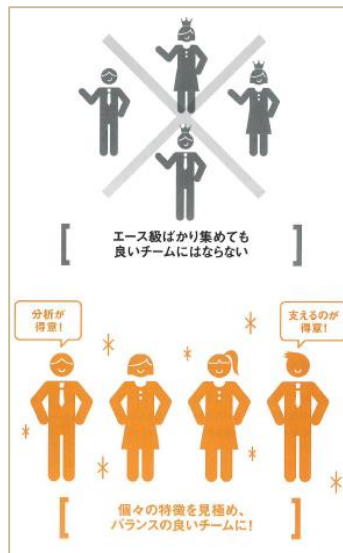
8月19日～8月25日
の間にアンケートへのご
回答・ご協力をお願い致
します。詳細後日回覧。

7月の サンキューボード

松川 …58枚
フクチャンち …6枚
吉井田 …37枚
いつもありがとう
ございます＼(＾o＾)／

「4番バッターばかり集めない」

チームにエース級ばかりを集めると、それぞれの主張
合戦がはじまって譲らないなど、上手いきません。
チーム編成をするときは、前に出て引つ張る人、全体を
冷静に見渡す人、専門分野で貢献する人、それぞれを
支える人など、個々のリーダーシップの特徴を見極め
ることが重要です。



図解

99%の人がしていない、
たった1%のリーダーのコツより



発行年月日
令和元年8月5日

発行人
社会福祉法人
ライフ・タイム・福島
業務改善委員会



編集者より
ひとこと

職員満足度調査、
今年はQRコードを
活用してスマホで
回答できるように
調整中です。ぜひ
様々なご意見をお
寄せください。

今月の！仕事に役立つちょっといい言葉

「幸せかどうかは、自分次第である。」

西洋最大の哲学者「万学の祖」と称される、アリストテレスの言葉